



おかげさま

原中学校便り R3. 4.30
No.3 文責 古清水 巖

タブレットを有効に活用して

村より一人一台のタブレットが用意されました。授業において有効に活用していきます。同時に、休校を余儀なくされてしまった時等の活用についても考えていきます。

すでに、学校応援団の皆さんのお力をお借りする中で、タブレットの使用方法を確認したり、実際に家庭と学校でのやり取りを想定したアプ



タブレットを手に個の課題に取り組む

リケーションをダウンロードしたりしています。「普段の授業以上に集中した姿が見られる」と、担当の先生方より伺っています。その中で、いくつかの不具合や家庭に持ち帰る際の問題も見つかっています（持ち帰りにはケースが最低限必要で、学年費を使用して購入させていただく予定です）。このような不具合等は、実際に活用していくことで分かるものです。とりあえず使ってみるものの必要性を感じています。それを通して、さらにより良い使用方法を考えていきたいと思えます。

次の段階としては、貸与されたタブレット（タブレットには個人名が記され、同じものを使用するようになります：目印でシール等を貼ることは禁止です）を実際に家に持ち帰り、インターネットに接続ができるのかを確認したいと考えています（環境のないご家庭については、相談させていただきます）。ご家庭において協力いただくことが必要になりますが、よろしく願います。同時に、いくつかのルールを設けています。「何を行って良いのか」「何を行ってはいけないのか」「何をするのか」すでにタブレット使用上の注意を作成して確認中ですが、継続的に確認をしていきます。

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：登録された利用者同士が交流

できる Web サイト上でのサービス）を使用し、ある程度閉ざされた世界の中で、密接な利用者間のコミュニケーションが可能となっています。匿名での投稿により、大きないじめ問題も起きています。安易な気持ちでの投稿により、相手を傷つける、強いては自分が傷つくことが多くあります。そのような問題が起きることなく、気持ちの良い使用ができるようにしていきたいです。



みんなで自分革命 We are HEROs.

生徒会のスローガンが決まりました。「自分で自分を輝かせるため、あこがれのヒーロー像を掲げ、それに迫るために努力できる生徒会にしたい」と、堀之内会長はじめ、役員さんで考え決めてくれました。月別の目標、ミッションを設け、それを達成させていく努力もしていきたいとのこと。これからの生徒会活動を楽しみにしています。

阿久遺跡訪問

「八ヶ岳を大事にして生活をしていたんですかね」

「信仰としては、蓼科山だったと言われています。村がそちらに向いています」

「北八ヶ岳、横岳が信仰の中心だったのではないのでしょうか。2000年前までは、北横岳が噴火していたと思いますので、火柱が信仰の対象だったのでは」

4月22日、1年生は原村学のスタートとして、原村で大切にしている阿久遺跡を訪問し、縄文時代原村が日本の銀座であったと言われる様子について学びました。

たくさんの発掘品を見たり、縄文の人が食べていたと言われる土器で煮たドングリを食べたり、阿久遺跡を散策したり、古に浸る時間を過ごしていました。

阿久で暮らしていた人の信仰について、色々と調べられているようです。八ヶ岳の麓ということで、八ヶ岳を大切にしていたことは間違いのないようですが、信仰としては蓼科山であるようです。一説によれば、当時噴火していた北横岳ということも？ロマンですね。

学校には、村の遺跡から発掘された土器等が定期的に模様替えされながら飾られています。こんな学校が日本にいくつあるのでしょうか。大変感謝です。現在は、八ツ手にある恩膳西遺跡で発見された、鍛冶の痕跡が分かる鉄の農工具が飾られています。



登校に迷った時は、先ず連絡を

諏訪地区の新型コロナウイルス感染症警戒レベルが5のままで継続されます。学校においては、今後も感染予防に努めていきます。また、誹謗中傷に立ち向かいます。

変異株等心配な事象もあり、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。そのため、急に感染が疑われたり、濃厚接触者等に指定されたりする可能性もあります。本校では、本人に熱等の症状があるだけでなく、ご家族にその症状がある場合も、登校を控えていただいています。心配な時、登校に迷った時には、先ず学校に連絡をお願いします。今までもご協力いただいておりますが、今後もよろしくお願いたします。